

JASMA 会報

2012年4月発行（季刊）社団法人日本縫製機械工業会

CONTENTS

- 第32回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催 …… 1
- 第32回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会 …… 2
- ミシンの日事業「ミシン・手づくりダイアリー」について …… 3
- 国際アパレルマシンショー (JIAM 2012 OSAKA) 9月に開催 …… 4
- 統計「生産・販売・在庫・輸出入 (平成23年1月～12月)」 …… 4

第32回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式開催

平成24年3月3日（土）日本工業倶楽部（東京都千代田区丸の内）において、第32回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール入選作品表彰式が受賞者、当工業会関係者等約110名の出席のもと盛大に開催されました。

最初に主催者の安井会長から、「今年の32回目のコンクールは、前回は上回る595校から過去最高の4,682点のご応募をいただき、作品からは“創作の楽しさ”、“強い思い”など皆様の感性が表現されてとても感動した。」と挨拶があり、続いてご来賓の経済産業省製造産業局産業機械課長 藤木俊光殿から、「東日本大震災後、日本の社会・経済はもう一度元気を取り戻していかなければならない。日本を支えてきたのは“ものづくり”の力で、皆様が作品に込めた“ものづくり”の情熱が日本の復興を支えるのではないかと心から期待している。」、文部科学省初等中等教育局参事官付教科調査官 望月昌代殿から、「ミシンという機械の使い方を学び、使いこなすことによって手縫いにはない、機械で縫うことの素晴らしさを知って、“ものづくり”の楽しさはどんどん広がっていくと思う。」と挨拶をいただきました。

経済産業大臣賞は、藤木課長から最優秀賞の5名に、また、文部科学大臣賞は望月調査官から小学校、中学校、高等学校のそれぞれ各1校にホームソーイング振興最優秀校賞として、賞状・賞品が授与されました。



続いて安井会長と眞壁副会長から、各賞への賞状・賞品の授与が行われました。

審査の結果については、本コンクール審査委員会の櫻井純子審査員長から、「日常生活できちんと使える堅実な作品が大変多かったと思う。一人一人がアイデアを盛り込み、創意工夫を加え、素材を上手に使い、ミシンの機能を最大限に活用して、自分の思いを込めて作った世界でたった一つの僕の作品、私の作品、オンリーワンを表現されていて非常に感心した。」と感想が述べられました。

その後、受賞者を代表して、名古屋市立桜台高等学校の小牟田梨乃さんから、「作品を完成させるまで試行錯誤を重ねたが、最後には自分の納得のいく作品ができた。卒業後は専門学校に進学し、ファッションのプロを目指して努力していきたい。」と挨拶がありました。



藤木俊光 産業機械課長



望月昌代 教科調査官



櫻井純子 審査委員長

第32回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール受賞者交流会

表彰式終了後、日本工業倶楽部内の会場において受賞者とその家族、学校関係者、来賓、報道関係者、当工業会関係者等が参加し受賞者交流会が開催されました。

会場には、経済産業大臣賞5点、優秀賞23点、アイデア賞3点、全国ミシン商工業協同組合連合会技術賞1点の入賞作品が展示されました。参加者は一つ一つの個性豊かな作品に感心するとともに、小学生の個性的なアイデア、中学生の創意工夫を凝らしたオリジナリティ、高校生のミシンの機能を最大限に活かした高い縫製技術など、改めて受賞者の努力や作品の素晴らしさを実感していました。

表彰式では緊張の面持ちが見られた受賞者の皆さんでしたが、交流会場では飲物と軽食が用意され、友だちや家族と楽しく談笑するなど和やかな雰囲気になっていました。作品の前で受賞者が家族や当工業会の安井会長等といっしょに記念写真を撮ったりするなど、明るく華やかな時間を過ごしていました。また、今回初めて表彰式を行った会場は、歴史と伝統があり受賞者をはじめ参加者は格式高い建物に感激していました。



ミシンの日事業「ミシン・手づくりダイアリー」について

当工業会では「3月4日はミシンの日」、「1月から3月はミシンの月」に合わせて、ミシンの普及を目的とした事業を行っております。このたび、平成23年度の事業として当工業会ホームページに「ミシン・手づくりダイアリー」を掲載しました。ミシンの日に関わらず、年間を通じてミシンを使ってもらえる機会を提供することで、ミシンの初心者から上級者まで幅広い愛好者の方を対象に、季節ごとの行事・テ

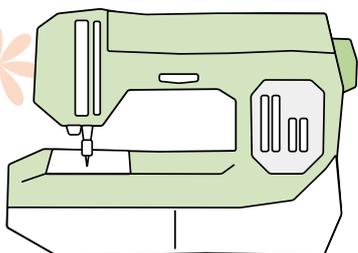
マに合わせ作品の写真や作り方を紹介しております。自分のためだけでなく、入園・入学する子供や孫、社会人として巣立つ家族、大切な友人、恋人のために作ってあげたいと思えるようなきっかけを提案します。少しでもミシンを使っただけのように今後とも内容を充実させて、更に多くの作品を紹介していきますのでご期待下さい。



リバーシブルミニトート



小花の巾着袋



エプロン



カイロカバー

国際アパレルマシンショー (JIAM 2012 OSAKA) 9月に開催

当工業会が主催する国際アパレルマシンショー (JIAM 2012 OSAKA) は、開催 (2012年9月19日 (水) ~22日 (土)) まで半年を切りました。JIAM 2012はビジネスに直結する見本市として、現在、アパレル、縫製業界をはじめ関係先から大きな期待が寄せられています。

シンポジウムは、「これからの縫製機械と縫製業界のあり方」並びに「日本のファッションビジネスについて」をテーマに、関係者によるパネルディスカッションを開催いたします。また、期間中は副資材、知的財産、縫製業など、幅広い分野の方々に関心の高いセミナーを開催いたします。

JIAM 2012の情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

<http://www.jiam2012.com>

【お問い合わせ先】

(社)大阪国際見本市委員会・JIAMデスク

TEL: 06-6612-1666 E-mail: jiam2012@fair.or.jp



統計「生産・販売・在庫・輸出入 (平成23年1月~12月)」

(単位: 台、百万円、%)

	生産		販売		在庫	輸出		輸入	
	数量	金額	数量	金額	数量	数量	金額	数量	金額
家庭用ミシン	55,813	2,818	56,203	2,847	660	291,511	2,777	823,548	7,359
前年比	88.0	98.5	86.0	96.9	25.4	99.4	111.1	98.4	94.6
工業用ミシン	191,049	34,273	200,067	34,807	17,695	227,481	35,988	55,936	3,086
前年比	108.0	101.0	103.9	98.6	126.8	94.9	94.7	125.9	125.1
合計	246,862	37,091	256,270	37,654	18,355	518,992	38,766	879,484	10,445
前年比	102.7	100.8	99.4	98.5	110.9	97.4	95.7	99.8	101.9

資料の出所/生産、販売、在庫: 経済産業省生産動態統計 輸出、輸入: 財務省通関統計

編集後記

今年も桜の開花とともに、新入社員が入社してきました。自分の子供と同世代の彼らの大きな期待と多少の不安を含んだ眼差しを見るにつけ、受け入れる側も緊張と軽い戸惑いを覚えています。

さすがに厳しい就職戦線を勝ち抜いてきただけあって物怖じしない態度には感服しますが、このまま素直に育ててほしいと願うばかりです。

貴重な「人材」である彼らを、将来を担う「人財」に育てるべく指導・教育していかなければならないと、改めて身の引き締まる思いをしている今日この頃です。 (A. A)

JASMA 会報

Vol.9 No.1 2012年4月27日発行

社団法人日本縫製機械工業会
発行責任者: 榎本 陸

〒105-0003 東京都港区西新橋1-14-12
TEL. 03-3597-0470 FAX. 03-3597-0477

URL <http://www.jasma.or.jp>
Eメール info@jasma.or.jp

本JASMA会報は、当工業会ホームページに掲載しております。